

小平薬川水系小平薬川
(計画規模)



凡 例

浸水深

0.5m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

3.0～ 5.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

10.0～20.0m未満の区域

浸水想定区域の指定の
対象となる水位周知河川

1.説明文

(1)この図は、小平薬川水系小平薬川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき、計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2)この洪水浸水想定区域図は、令和4年3月時点の小平薬川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により小平薬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2.基本事項等

(1)作成主体

(2)指定年月日

(3)告示番号

(4)指定の根拠法令

(5)対象となる水位周知河川

(6)指定の前提となる降雨

(7)関係市町村

北海道留萌振興局

令和6年7月9日

北海道公報第520号

水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項

小平薬川水系小平薬川
(実施区間:
左岸:小平薬川の排水工(SP1310)から河口(SP-200)まで)

小平薬川流域の48時間総雨量220mm

小平町

「測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 3JHf 465」「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」